



news release

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 〒004-8588 札幌市清田区清田一条一丁目2番1号
【URL】 <http://www.hokkaido.ccbc.co.jp/>

2019年5月17日

報道関係 各位

～開墾 10 周年！ホタルの幼虫 1000 匹を放流～

2019年5月25日(土)

旭山動物園 農園開き

北海道コカ・コーラボトリング株式会社（本社：札幌市清田区 代表取締役社長：佐々木 康行）は、旭山動物園内で 2010 年より取り組んでいる、環境教育プログラム“循環型農園”「つながる輪『いのち』」（以下同プログラム）の本年度の農園開きを 2019 年 5 月 25 日(土)に行いますので、ご案内申し上げます。

この農園は動物の排泄物を利用した堆肥から農作物を作り、その農作物が動物や人間の食料になるという一連の流れを通して、食物の循環を学ぶことを目的として、旭山動物園と当社を含む協力団体が協働して開墾されました。



※昨年の農園開きの様子

地域の高校生をはじめとする市民が中心となって農作物の栽培をはじめ、今年で開墾 10 年目を迎えます。併せて実施されるホタルの放流は、昔のように田んぼや畑にホタルが自然繁殖する環境づくりを目指し、昨年の 10 倍となる 1,000 匹が放流されます。

2019 年度 農園開き

- 日 時：2019 年 5 月 25 日（土） 午前 10 時から
 - 場 所：旭川市旭山動物園 やすらぎの森横「循環型農園」（旭川市東旭川町倉沼）
 - 出席者：旭川市旭山動物園 園長 坂東 元 様
当社 営業統括本部 エリア営業本部 道北営業部長 黒木 聡
旭川実業高校、旭川農業高校、拓殖大学北海道短期大学他
 - 内 容：①16 種類の野菜の種まきと田植え ②ホタルの幼虫 1000 匹を放流（※昨年度 100 匹を放流）
- ※雨天時は 5 月 26 日(日)に順延。

「つながる輪『いのち』」応援自動販売機



「つながる輪『いのち』」応援自動販売機は、ご購入いただいた製品の売り上げの一部が、同プログラムの活動運営費となり、苗や種などの購入に活用されています。

旭川市の魅力的なまちづくりを応援する皆様の気持ちを反映できるこの自動販売機は、市内 5 ヶ所に設置されています。

当社は、「北の大地とともに」をスローガンに、道産子企業として、北海道の魅力をさらに高める活動、地域課題解決への協力、次世代を担う子どもたちに将来の地球の姿を考える場の提供、安全で安心な地域づくりを応援する取り組みなど、事業活動を通して継続的に推進してまいります。

<本件に関するお問い合わせ先>

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 広報・CSR推進部

担当：朝日 TEL 011-888-2091

【参考】

同プログラムは、2008年に当社と旭川市との間で締結した「魅力的なまちづくりに関する基本協定」に基づき、2010年から旭山動物園内休憩スペース「やすらぎの森」横にて、旭山動物園と当社を含む協力団体が協働して農園を開墾し、地域の高校生をはじめとする市民が中心となって農作物の栽培をはじめました。

農園開きでは野菜の種まきと田植えのほか、6年前より整備を進めてきたビニールハウス内での「ホタルが生息できる環境づくり」とホタルの幼虫放流を行うとともに、秋には収穫祭も開催し、食物の循環をはじめとした環境について学ぶ機会を提供していきます。

協力団体の役割等

<敬称略、順不同>

協力団体	役割等
旭川実業高校	農園管理、堆肥管理
旭川農業高校	農園管理、堆肥管理
拓殖大学北海道短期大学	農園アドバイザー、作物育成指導
株式会社北海道録画センター	農園づくり支援、活動内容録画
花本建設株式会社	土、有機肥料提供と搬入
龍後設備株式会社	水廻り設備工事等支援
株式会社新見産業	焼丸太提供（柵）
有限会社旭川銘木	畑の囲い木枠用板提供
北海道労働者協同組合	農園管理支援
山田 有弘	ホタル提供
旭川市旭山動物園	トータル管理、農園場所提供、水道光熱費負担
北海道コカ・コーラボトリング(株)	環境プログラム総合調整

自動販売機設置先

<敬称略、順不同>

設置先	設置先の住所
ロッジヴィクトリ	旭川市春光台1条4丁目
木村下宿	旭川市末広4条2丁目
株式会社トラスポジャパン	旭川市末広6条1丁目
東邦電設株式会社	旭川市東光3条2丁目
旭川市旭山動物園内やすらぎの森前	旭川市東旭川町倉沼